

エイズ先端医療開発室

エイズ先端医療研究部長 白阪琢磨

エイズ先端医療研究部はエイズ先端医療開発室と HIV 感染制御室から構成されている。

海外同様、わが国、特に大阪で HIV 感染症患者の報告数は増加の一途である。HIV 感染症に対する抗 HIV 療法の進歩によって HIV 感染症の予後は大きく改善し、HIV 感染症は医学的管理のできる慢性疾患と捉えられるまでになったが、治癒は未だにない。

当院は薬害 HIV 裁判の和解に基づく恒久対策の一環として、平成 9 年にエイズ診療における近畿ブロックのブロック拠点病院に選定された。当院は診療（全科対応体制）、臨床研究、教育・研修、情報発信の 4 つの機能を担っている。具体的には院内に設けられた HIV/AIDS 先端医療開発センターが核となって関連部署と緊密な連携を取りながら任務を遂行している。診療部門では HIV 感染症は全身疾患であり全科で対応しており、HIV 感染症の専門的診療は感染症内科が担う。その他の機能はエイズ先端医療研究部がコーディネートしている。臨床研究では厚生労働科学研究費補助金によるエイズ対策研究事業（平成 24 年度は指定研究「HIV 感染症および合併症の課題を克服する研究」（研究代表者白阪琢磨、研究分担者渡邊大、仲倉高広、下司有加）、指定研究「HIV 感染症の医療体制に関する研究」（研究分担者上平朝子、吉野宗宏）などを実施し、多くの成果を上げ、その研究成果の一部は学会あるいは論文として発表した。臨床研究の主なテーマは HIV 感染症の病態解析や治療に関する研究と患者中心の医療の提供に関する研究である。前者は渡邊大が HIV 感染制御室で実施し、後者をエイズ先端医療開発室で実施している。HIV 感染症の治療の中心である抗 HIV 療法は服薬が基本である。免疫能を回復させ、健康を維持し続けるためには、その服薬率（服薬アドヒアランス）は 95%以上である事が求められる。感染者の多くは若者であるが、社会経済的、心理学的、精神的な困難を有する例も多く、医師、看護師のみならず、薬剤師、臨床心理士、ソーシャル・ワーカーなどから成るチームでの医療の提供が必要であり、研究を継続している。また、HIV 感染症患者の様々な病態に対応するには医療施設間での診療連携や福祉施設との相互の連携も必要であり長期療養についても研究を継続している。血液製剤による感染者の多くは C 型肝炎にも重複感染している。HIV 感染症での死亡例が減少した一方で、最近では C 型慢性肝炎での死亡例が増えるなど対策が急がれており、厚生労働科学研究費補助金によるエイズ対策研究事業指定研究班（木村班、江口班）の研究分担を担当している。教育・研修では院内向け院外向け共に院内での研修については、看護部、医療相談室、臨床心理室等と共に職員研究部と協働で実施し、多くの参加者を得ている。とりわけ長期療養について訪問看護師研修などを全国で実施している。情報発信については当院のホームページ内に HIV/AIDS 先端医療開発センターを (<http://www.onh.go.jp/khac/>) 設け、厚労科研の成果の一部 (HAART Support) や HIV 感染症/AIDS に関する情報を発信しており、ホームページを 1999 年に開設以来アクセス数は 50 万件を超え、多くの方の利用を得ている。

今後も、HIV/AIDS 先端医療開発センターの研究部門として HIV 感染症/AIDS に関する臨床研究、教育・研修、情報発信を進め、特に急性感染期の HIV 感染症の診断と治療を新たなテーマとして研究を推進して行きたい。

【2012 年度研究発表業績】

A-0

Yoshino M, Yagura H, Kushida H, Yonemoto H, Bando H, Ogawa Y, Yajima K, Kasai D, Taniguchi T, Watanabe D, Nishida Y, Kuwahara T, Uehira T, Shirasaka T : Assessing recovery of renal function after tenofovir disoproxil fumarate discontinuation. J Infect Chemother, 2012;18(2):169-74 (2012 年 4 月)

Shimamoto Y, Fukuda T, Tominari S, Fukumoto K, Ueno K, Dong M, Tanaka K, Shirasaka T, Komori K: Decreased vancomycin clearance in patients with congestive heart failure. Eur J Clin Pharmacol. 2012 ; [Epub ahead of print](2012 年 7 月)

Yotsumoto M, Hagiwara S, Ajisawa A, Tanuma J, Uehira T, Nagai H, Fujikawa Y, Maeda S, Kitano K, Arima N, Uno K, Iwai T, Hongo I, Ota Y, Fukutake K, Okada S : Clinical characteristics of human immunodeficiency virus-associated Hodgkin lymphoma patients in Japan. Int J Hematol 2012;96(2):247-253(2012 年 8 月)

Watanabe D, Yoshino M, Yagura H, Hirota K, Yonemoto H, Bando H, Yajima K, Koizumi Y, Otera H, Tominari S, Nishida Y, Kuwahara T, Uehira T, Shirasaka T : Increase in serum mitochondrial creatine kinase levels induced by tenofovir administration. J Infect Chemother. 2012;18(5):675-82 (2012 年 10 月)

Watanabe D, Otani N, Suzuki S, Dohi H, Hirota K, Yonemoto H, Koizumi Y, Otera H, Yajima K, Nishida Y, Uehira T, Shima M, Shirasaka T, Okuno T. Evaluation of VZV-specific cell-mediated immunity in adults infected with HIV-1 by using a simple IFN- γ release assay. J Med Virol. in press.

Hagiwara S, Yotsumoto M, Odawara T, Ajisawa A, Uehira T, Nagai H, Tanuma J, Okada S : Non-AIDS-defining hematological malignancies in HIV-infected patients: an epidemiological study in Japan. AIDS 2013;27(2):279-283 (2013 年 1 月)

A-3

向井悟、金島広、小川吉彦、中尾隆文、手島博文、山根孝久：メルファラン大量療法を前処置とした自家末梢血幹細胞移植を施行した原発性アミロイドーシスの 3 例、「癌と化学療法」、第 39 巻 4 号 P625-627、(株)癌と化学療法社、2012 年 4 月

小川吉彦、向井悟、金島広、中尾隆文、山根孝久：再発・難治性低悪性度 B 細胞性非ホジキンリンパ腫に対する bendamustine (トレアキシン®) の治療経験、「新薬と臨牀」 第 61 巻第 6 号 P23-27、(株)医薬情報研究所発、2012 年 6 月

吉野宗宏、矢倉裕輝、櫛田宏幸、米本仁史、廣田和之、坂東裕基、矢嶋敬史郎、小泉祐介、大寺博、富成伸次郎、渡邊大、桑原健、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院における 1 日 1 回投与ダルナビル／リトナビルの使用成績。日本エイズ学会誌 14 : 141-146, 2012 年 9 月

高槻光寿、江口晋、曾山明彦、兼松隆之、中尾一彦、白阪琢磨、山本政弘、瀧永博之、立川夏夫、釘山有希、八橋弘、市田隆文、國土典宏：血液製剤による HIV-HCV 重複感染者の予後-肝移植適応に関する考察-、「肝臓」53 巻 10 号、P586-590、社団法人 日本肝臓学会、2012 年 10 月

矢倉裕輝、柴田麻由、赤崎晶子、金子恵子、吉野宗宏、櫛田宏幸、山内一恭、本田芳久、小森勝也、上平朝子、白阪琢磨、寺岡麗子、栞原健、北河修治：抗 HIV 薬の懸濁時における安定性に関する検討、「医療薬学」別刷 第 38 巻 第 10 号、P634-641、一般社団法人 日本医療薬学会、2012 年 10 月

白阪琢磨：日本人の腎機能に及ぼす影響、第 25 回日本エイズ学会学術集会・総会ランチョンセミナー『Tenofovir を含む長期抗 HIV 療法と腎臓及び骨～海外の報告、日本人における検証と今後の課題』記録集、2012 年 12 月

永松麻紀、東祥子、池田彩、小澤健太郎、田所丈嗣、小川吉彦、富成伸次郎、辻真紀：凍結療法が奏功した AIDS 関連 Kaposi 肉腫、「皮膚病診療」、第 34 巻 12 号、P1221-1224、(株)協和企画、2012 年 12 月

A-4

白阪琢磨：ラルテグラビルの特徴と使い方、「ASAHI medical」第 41 巻 第 4 号 通巻第 485 号、P27-29、朝日新聞社、2012 年 4 月

白阪琢磨：XV-6 HIV 感染症、「診療ガイドライン UP-TO-DATE[2012-2013]」、第 1 版第 1 刷、P740-747、(株)メディカルレビュー社、2012 年 5 月

満屋裕明、島尾忠男、白阪琢磨、立川夏夫：治療と予防-ART が画する新時代、「HIV 感染症と AIDS の治療」別刷 VOL.3 No.1 、P4-11、(株)メディカルレビュー社、2012 年 5 月

上平朝子、白阪琢磨、吉野宗宏、下司有加、岡本学、安尾利彦：HIV チーム医療の現場から 私たちが実践している工夫と取り組み、「HIV BODY AND MIND」Vol.1 No.1 創刊号、P8-17、(株)メディカルレビュー社、2012 年 6 月

岡慎一、山本政弘、上平朝子、岸田修二、吉野宗宏、大金美和：これからの HIV 感染症治療のポイント～患者さんの身体と心を支えるために～、「HIV BODY AND MIND」Vol.1 No.1 創刊号、P26-36、(株)メディカルレビュー社、2012 年 6 月

西田恭治：血友病の止血治療 1)補充療法(i)血友病 A、「みんなに役立つ 血友病の基礎と臨床」、改訂版 P140-147、(株)医薬ジャーナル、2012 年 9 月

渡邊 大：HIV と免疫システム、週刊医事新報 No.4617 P62-63 (日本医事新報社)、2012 年 10 月

白阪琢磨：DHHS ガイドラインについて-主な改訂ポイントを中心に-、「HIV 感染症と AIDS の治療」

別刷 VOL.3 No.2 、 P11-15、(株)メディカルレビュー社、2012 年 11 月

白阪琢磨、杉浦互、瀧永博之：薬剤耐性を検討する-ART の新時代、「HIV 感染症と AIDS の治療」
別刷 VOL.3 No.2 、 P16-22、(株)メディカルレビュー社、2012 年 11 月

白阪琢磨：増え続ける HIV/AIDS 感染者・患者数 日本の新規 AIDS 患者は過去最多に...！ 教育現場で、より関心を持たせることが望まれます-最新の都道府県別・累積報告状況もあります、「健」
第 41 巻 第 9 号 通巻第 483 号、P20-21、(株)日本学校保健研修社、2012 年 12 月

西田恭治：5.血友病・von Willebrand 病(VWD)と妊婦、「産科と婦人科」別刷 Vol.80 No.1、P.40-46、
(株)診断と治療社、2013 年 1 月

白阪琢磨：抗ウイルス療法の現状と今後の展望 各論 抗 HIV 薬、「臨床と微生物」Vol.40 No.1、P21-28、
(株)近代出版、2013 年 1 月

東政美：HIV 感染症患者の生活習慣病への支援、「臨床と微生物」、Vol.40 No.1、P83-86、(株)近代
出版、2013 年 1 月

白阪琢磨：抗 HIV 用薬、治療薬ハンドブック 2013、株式会社じほう、2013 年 1 月

白阪琢磨：「服薬をはじめる前に」第 3 版、鳥居薬品(株)患者様用服薬支援冊子、2012 年 6 月

白阪琢磨：HIV 感染症治療の最近の話題、臨牀と研究 89(11):1596-1596、2012 年 11 月

HIV 感染症治療研究会(木村哲、満屋裕明、白阪琢磨他)：HIV 感染症「治療の手引き」第 16 版、2012
年 12 月

A-6

白阪琢磨：HIV 早めの治療にシフト、「生活・医療」、10 版、朝日新聞、2012 年 4 月

白阪琢磨：薬害患者救命 私の責務、「カルテの余白に」、13 版、P16、読売新聞、2012 年 8 月

白阪琢磨：患者と息長いつきあい、「カルテの余白に」、13 版、P14、読売新聞、2012 年 8 月

白阪琢磨：HIV 感染 治癒の日信じて、「カルテの余白に」、13 版、P18、読売新聞、2012 年 8 月

白阪琢磨：「奉仕の心」が動機、「談論誘発」日刊、第 25212 号、P23、東京新聞、2013 年 1 月

B-3

小川吉彦、吉田全宏、金島広、中尾隆文、山根孝久：Morganella Morganii 血流感染より心外膜炎を

発症し心タンポナーデを呈した多発性骨髄腫の1例、第197回日本内科学会 近畿地方会、神戸、2012年6月

白阪琢磨、仲倉高広：第3回医療とスピリチュアル～HIV/AIDS 医療におけるスピリチュアル・ケアを考える、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

白阪琢磨：HIV 感染症治療の早期化と課題、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

白阪琢磨：改訂版 DHHS ガイドラインから読み取る！～高齢化を見据えた薬剤選択のポイント～、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

椎野禎一郎、服部純子、瀧永博之、吉田繁、上田敦久、近藤真規子、貞升健志、藤井毅、横幕能行、上田幹夫、田邊嘉也、渡邊大、森治代、南留美、健山正男、杉浦互：国内感染者集団の大規模塩基配列解析 3:希少サブタイプをサブタイプ間組み換え体の動向、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

矢嶋敬史郎、西島健、羽柴知恵子、與那嶺敦、富田健一、大槻知子：エイズ新時代・若き担い手たち～現場で日々感じていること～、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

山元泰之、瀧永博之、立川夏夫、矢嶋敬史郎：NNRTI その充実と今後の展望を考える、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

小川吉彦、吉田全宏、金島広、中尾隆文、井上健、山根孝久：当院における HIV 感染者に合併した悪性リンパ腫の検討、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

B-4

笠井大介、米本仁史、小川吉彦、坂東裕基、矢嶋敬史郎、谷口智宏、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：大阪医療センターにおけるHIV感染患者の手術成績に関する検討。第109回日本内科学会総会・講演会、京都、2012年4月

大寺博、多田公英、桜井稔泰、池田顕彦：気管支結核の治療中、気管支内に突出する気管軟骨を認めた1例、第35回日本呼吸器内視鏡学会学術集会、東京、2012年5月

小泉祐介、廣田和之、米本仁史、大寺博、矢嶋敬史郎、渡邊大、南口 仁志、西田恭治、上平朝子、児玉良典、大田泰徳、藤山佳秀、白阪琢磨：AIDS関連DLBCLの治療中にPlasmablastic lymphomaを合併し、BD療法を施行した一例。第74回日本血液学会学術集会、京都、2012年10月

吉野宗宏、矢倉裕輝、櫛田宏幸、米本仁史、廣田和之、矢嶋敬史郎、小泉祐介、大寺博、渡邊大、

西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院における 1 日 1 回投与 darunavir/ritonavir の使用成績(第 2 報)、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

宮本哲雄、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、鍛冶まどか、西川歩美、下司有加、治川知子、東政美、白阪琢磨：大阪医療センターにおける HIV 陽性者の神経心理学的障害の出現状況、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

安尾利彦、治川知子、富成伸次郎、廣常秀人、白阪琢磨：意欲低下、自殺念慮、対人恐怖を主訴とした、ある HIV 陽性者との心理療法過程、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

矢倉裕輝、吉野宗宏、櫛田宏幸、上平朝子、白阪琢磨、小森勝也：抗 HIV 薬の簡易懸濁法適用に関する検討 第 2 報、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

福武勝幸、篠澤圭子、味澤篤、岩本愛吉、菊池嘉、白阪琢磨、藤井輝久、花房秀次、三間屋純一、関根祐介、山本泰之：エイズ治療薬研究班の活動（1996 年から 2011 年）、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

四本美保子、篠澤圭子、山元泰之、青木眞、関根祐介、味澤篤、岩本愛吉、菊池嘉、白阪琢磨、藤井輝久、花房秀次、福武勝幸：本邦における HIV 感染症患者のアトバコン使用状況と副作用、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

下司有加、関谷早苗、岡本学、富成伸次郎、今村顕史、白阪琢磨：訪問看護ステーションにおける HIV 陽性者の受け入れに関する研究、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

仲倉高広、宮本哲雄、鍛冶まどか、森田眞子、安尾利彦、大谷ありさ、藤本恵里、西川歩美、下司有加、治川知子、東政美、白阪琢磨：HIV 感染症に関連する神経心理学的スクリーニング検査の項目選出についての検討、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

鍛冶まどか、仲倉高広、安尾利彦、森田眞子、大谷ありさ、藤本恵里、宮本哲雄、西川歩美、下司有加、治川知子、東政美、上平朝子、白阪琢磨：HIV 関連神経認知障害（HAND）のスクリーニングテストとしての IHDS についての検討、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

渡邊大、上平朝子、下司有加、治川知子、東政美、藤友結実子、廣田和之、米本仁史、小泉祐介、大寺博、矢嶋敬史郎、西田恭治、白阪琢磨：HIV に感染後、2 年以内に診断された症例における免疫が低下するまでの期間と、それに関与する因子の検討、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

米本仁史、小泉祐介、藤友結実子、廣田和之、大寺博、矢嶋敬史郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：抗 HIV 療法により改善した心筋症の 1 例、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

大寺博、藤友結実子、廣田和之、米本仁史、矢嶋敬史郎、小泉祐介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当院 HIV 陽性患者における気胸合併症例の検討、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

矢嶋敬史郎、上平朝子、藤友結実子、廣田和之、米本仁史、小泉祐介、大寺博、渡邊大、西田恭治、白阪琢磨：当院で生検により診断したカポジ肉腫およびその他の HHV-8 関連疾患の検討、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

小泉祐介、廣田和之、米本仁史、藤友結実子、大寺博、矢嶋敬史郎、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：当科で経験した Plasmablastic lymphoma(PBL)の 3 例、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

矢倉裕輝、吉野宗宏、櫛田宏幸、米本仁史、廣田和之、矢嶋敬史郎、小泉祐介、大寺博、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：Darunavir 1 日 1 回投与時の薬物動態に関する検討、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

服部純子、瀧永博之、渡邊大、長島真美、貞升健志、近藤真規子、南留美、吉田繁、森治代、内田和江、椎野禎一郎、加藤真吾、千葉仁志、佐藤典宏、伊藤俊広、佐藤武幸、上田敦久、石ヶ坪良明、古賀一郎、太田康男、山元泰之、福武勝幸、古賀道子、岩本愛吉、西澤雅子、岡慎一、伊部史朗、松田昌和、林田庸総、横幕能行、上田幹夫、大家正義、田邊嘉也、白阪琢磨、小島洋子、藤井輝久、高田昇、山本政弘、松下修三、藤田次郎、健山正男、杉浦互：新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV の動向、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

上平朝子、吉野宗宏、渡邊大、櫛田宏幸、矢倉裕輝、藤友結実子、廣田和之、米本仁史、矢嶋敬史郎、小泉祐介、大寺博、西田恭治、白阪琢磨：当院の NRTI-sparing レジメンの使用経験の報告、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

白阪琢磨、日笠聡、岡慎一、川戸美由紀、橋本修二、吉崎和幸、福武勝幸：血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報 CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と維持、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

川戸美由紀、橋本修二、岡慎一、吉崎和幸、福武勝幸、日笠聡、白阪琢磨：血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 2 報 抗 HIV 薬の投与状況の推移、第 26 回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012 年 11 月

渡邊大、矢嶋敬史郎、廣田和之、米本仁史、小泉祐介、大寺博、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：

インテグラーゼ領域のN155H変異がQ148K変異に置き換わったraltegravirによる治療失敗の1例、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

堀場昌英、上平朝子、横幕能行、今村淳治、高濱宗一郎、山本善彦：HIV/HBV重複感染例におけるtenofovir/emtricitabineのHBV感染症に対する抗ウイルス効果及び免疫学的効果の検討、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

矢嶋敬史郎、井内亜紀子、黒田美和、安尾利彦、下司有加、仲倉高広、吉野宗宏、上平朝子、白阪琢磨：当院におけるHIV診療の現状と課題、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

矢嶋敬史郎、上平朝子、藤友結実子、廣田和之、米本仁史、小泉祐介、大寺博、谷口智宏、渡邊大、西田恭治、白阪琢磨：免疫再構築症候群により治療に難渋したHIV合併クリプトコッカス髄膜炎の2例、第55回日本感染症学会中日本地方会学術集会、福岡、2012年11月

古谷野淳子、早津正博、加藤朋子、塚本琢也、北志保里、松岡亜由子、大谷ありさ、倉谷昂志、仲倉高広、藤本恵里、宮本哲雄、森田眞子、安尾利彦、喜花伸子、辻麻理子、阪木淳子、飯田敏晴、山中京子：中核拠点病院におけるカウンセリング従事者調査 第1報 - カウンセリング体制の現状、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

早津正博、古谷野淳子、加藤朋子、塚本琢也、北志保里、松岡亜由子、大谷ありさ、倉谷昂志、仲倉高広、藤本恵里、宮本哲雄、森田眞子、安尾利彦、喜花伸子、辻麻理子、阪木淳子、飯田敏晴、山中京子：HIV治療の中核拠点病院におけるカウンセリング従事者調査 第2報 - カウンセリング環境の課題、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

井内亜紀子、センテノ田村恵子、鈴木智子、須貝恵、辻典子、濱本京子、吉用緑、山本政弘：ブロック拠点病院と中核拠点病院における連携の在り方についての検討～中核拠点病院におけるチーム医療と研修の実績～、第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜、2012年11月

B-5

白阪琢磨：大阪で拡がりやが止まらないHIV感染症—あなたに出来ることは？。大阪府臨床検査技師会学術部輸血検査部門学術講演会、大阪、2013年1月

渡邊大、坂東裕基、廣田和之、米本仁史、大寺博、小泉祐介、矢嶋敬史郎、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：Western blot法が陰性化したAIDSの1例。第197回日本内科学会近畿地方会、神戸、2012年6月

米本仁史、矢嶋敬史郎、廣田和之、大寺博、小泉祐介、渡邊大、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨：悪性リンパ腫に対するR-CHOP後にリステリア菌血症を呈したAIDSの1例。第197回日本内科学会近畿地方会、神戸、2012年6月

岡本瑛里子, 渡邊 大, 蘆田美紗, 鈴木佐知子, 土肥浩美, 廣田和之, 米本仁史, 矢嶋敬史郎, 小泉祐介, 大寺 博, 西田恭治, 三田英治, 上平朝子, 白阪琢磨: 大阪医療センターのHIV/HBV共感染者におけるHBVのゲノタイプの検討。第26回近畿エイズ研究会・学術集会、神戸、2012年7月

小泉祐介, 米本仁史, 藤友結実子, 大寺 博, 矢嶋敬史郎, 渡邊 大, 西田恭治, 上平朝子, 白阪琢磨: 梅毒性脊髄炎と視神経炎を併発したHIVキャリアの一例。第55回日本感染症学会中日本地方会学術集会、福岡、2012年11月

大寺 博, 藤友結実子, 廣田和之, 米本仁史, 矢嶋敬史郎, 小泉祐介, 渡邊 大, 西田恭治, 上平朝子, 白阪琢磨: HIV陽性患者における非結核性抗酸菌症合併症例の検討。第55回日本感染症学会中日本地方会学術集会、福岡、2012年11月

廣田和之, 渡邊 大, 小泉祐介, 米本仁史, 大寺 博, 矢嶋敬史郎, 西田恭治, 上平朝子, 白阪琢磨: 急性HIV感染症で食道潰瘍を生じた1例。第199回日本内科学会近畿地方会、大阪、2012年12月

B-8

白阪琢磨: HIV/AIDS 医療の現状と当院の役割、平成 24 年度新卒採用職員研修計画【共通】(案)、大阪、2012 年 4 月

白阪琢磨: HIV 感染症/AIDS、平成 24 年度大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2012 年 5 月

白阪琢磨: HIV 診療の最前線-近畿ブロック拠点病院から-。独立行政法人国立病院機構岡山医療センター院内講演会、岡山、2012 年 5 月

上平朝子: 女性と HIV、平成 24 年度大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2012 年 5 月

西田恭治: 薬害エイズ、平成 24 年度大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2012 年 5 月

渡邊大: HIV 診断と急性感染、平成 24 年度大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2012 年 5 月

矢嶋敬史郎: KS、HIV 脳症と PML、平成 24 年度大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2012 年 5 月

西田恭治: 女性にとっての血友病、第 3 回大阪ヘモフィリア看護懇話会～支えよう血友病の輪～、大阪、2012 年 5 月

矢嶋敬史郎：HIV 感染症と長期療養、平成 24 年度北海道 HIV/AIDS 医療者研修会（第 23 回北海道 HIV 臨床カンファレンス）、北海道、2012 年 5 月

白阪琢磨：明石市医師会内科医学会学術講演会、明石、2012 年 6 月

白阪琢磨：HIV 感染症。大谷高等学校学内講演会。大阪、2012 年 6 月

白阪琢磨：薬剤耐性を検証する-ART の新時代。HIV 感染症と AIDS の治療 第 6 号座談会、東京、2012 年 6 月

上平朝子：感染症コース「HIV 感染症」、関西医科大学 3 学年講義、守口、2012 年 6 月

矢嶋敬史郎：抗 HIV 薬と HAART の変遷と問題点・副作用と合併症、近畿ブロック医療相談会、大阪、2012 年 6 月

矢嶋敬史郎：HIV 治療について最近の話題、Hiroshima HIV Meeting、広島、2012 年 6 月

米本仁史：HIV の最新治療、平成 24 年度第 1 回 HIV サポートリーダー養成研修、大阪、2012 年 6 月

米本仁史：ニューモシスチス肺炎、平成 24 年度大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2012 年 6 月

小泉祐介：悪性腫瘍、針刺し予防、平成 24 年度大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2012 年 6 月

矢嶋敬史郎：HIV 感染症と悪性疾患について。関西 HIV 臨床カンファレンス看護部会講演会、大阪、2012 年 7 月

白阪琢磨：HIV 感染者の人権問題 HIV と AIDS、感染者をとりまく現状とその課題について。大阪府「人権総合講座」、大阪、2012 年 8 月

白阪琢磨：エイズは、なぜ大阪で増え続けているのか？。西淀川区学校保健大会、大阪、2012 年 9 月

白阪琢磨：当院の HIV 診療の現状および最新の治療・HIV 感染症の抗 HIV 療法、平成 24 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2012 年 9 月

白阪琢磨：長期合併症を見据えた RAL の今後の可能性。Raltegravir Expert Meeting、東京、2012 年 9 月

上平朝子：母子感染予防・針刺し暴露後対策、平成 24 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2012 年 9 月

西田恭治：HIV と血友病、平成 24 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2012 年 9 月

渡邊大：HIV 感染症の診断、平成 24 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2012 年 9 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症①中枢神経合併症・CMV 網膜炎、平成 24 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2012 年 9 月

大寺博：日和見感染症②ニューモシスチス肺炎・結核・非結核性抗酸菌症、平成 24 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2012 年 9 月

小泉祐介：日和見感染症③HIV と消化器・悪性腫瘍、平成 24 年度 HIV 感染症研修会、大阪、2012 年 9 月

上平朝子：最新の HIV 化学療法について、特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権、福井、2012 年 9 月

上平朝子：HIV 感染診療の現状と対策(仮題)、大阪府済生会中津病院 院内感染防止対策委員会講演会、大阪、2012 年 9 月

伊熊素子：Disseration for Master of Science in Tropical and Infections Disease、Liverpool School of Tropical Medicine、イギリス、2012 年 9 月

大寺博：結核、非結核性抗酸菌症、平成 24 年度大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2012 年 9 月

廣田和之：CMV 感染症、平成 24 年度大阪大学医学部 環境医学・公衆衛生学実習、大阪、2012 年 9 月

白阪琢磨：日常診療における性感染症の実態－HIV 感染症を中心に。第 8 回 Interactive Medical Conference、大阪、2012 年 10 月

白阪琢磨：HIV について。長浜バイオ大学「感染生物学」講義、長浜、2012 年 10 月

矢嶋敬史郎：市民対象講座 HIV 感染症とは？、第 2 回 AIDS 文化フォーラム in 京都、京都、2012 年 10 月

米本仁史：HIV 感染症の基礎知識、平成 24 年 HIV 検査相談研修会、大阪、2012 年 10 月

白阪琢磨：HIV 感染症の疫学・抗 HIV 療法の考え方、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

上平朝子：免疫再構築症候群(IRIS)、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

上平朝子：HIV 診療の医療体制・HIV 曝露後対策、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

西田恭治：薬害 HIV・血友病診療、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

渡邊大：HIV 感染症の診断、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

渡邊大：HIV 急性感染、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

渡邊大：薬剤耐性 HIV 変異、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

渡邊大：外来診療について、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

渡邊大：HIV 検査の実際と研究室紹介、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

渡邊大：HIV/AIDS の基礎知識。平成 24 年度エイズ診療拠点病院近畿ブロックソーシャルワーク研修会、大阪、2012 年 10 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症診療(カポジ肉腫)、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症診療(カンジタ症、クリプトコッカス症他)、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

矢嶋敬史郎：日和見感染症診療(HIV 脳症、PML)、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

小泉祐介：日和見悪性腫瘍、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

小泉祐介：HIV と消化器症状、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

藤友結実子：日和見感染症診療(抗酸菌症)、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

米本仁史：日和見感染症診療(CMV 感染症)、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

廣田和之：STD(性行為感染症)の診療、平成 24 年度 HIV 感染症医師実地研修会、大阪、2012 年 10 月

白阪琢磨：HIV に関する基礎知識について。院内講演会、吹田、2012 年 11 月

白阪琢磨：現代的健康課題について－HIV/エイズについて－。大阪府教育センター新規採用養護教諭研修、大阪、2012 年 11 月

西田恭治：血友病医療後進国日本の不思議、第 6 回岐阜県血友病治療ネットワーク、岐阜、2012 年 11 月

白阪琢磨：HIV 感染症・治療。大阪赤十字看護専門学校講義、大阪、2012 年 12 月

白阪琢磨：これからの若者に期待したい事－HIV/AIDS、飲酒、喫煙の実態報告から。国際ロータリー第 2660 地区地区大会、大阪、2012 年 12 月

白阪琢磨：HIV に関する基礎知識について。院内研修会、吹田、2012 年 12 月

廣田和之：急性 HIV 感染症で食道潰瘍を生じた 1 例、第 199 回日本内科学会近畿地方会、大阪、2012 年 12 月

西田恭治：血友病治療に関する最近の動向、東海ブロック医療等相談会、名古屋、2013 年 1 月

西田恭治：血友病医療における鎖国日本の現況、医療等相談会、大阪、2013 年 1 月

西田恭治：肝炎ウイルスを合併する HIV 治療の現状、第 8 回三重 HIV 感染症講演会、三重、2013 年 2 月

上平朝子：HIV 感染症の基礎知識、平成 24 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2013 年 1 月

大寺博：HIV と呼吸器感染症、平成 24 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2013 年 1 月

渡邊大：HIV 感染症の診断、平成 24 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2013 年 1 月

白阪琢磨：HIV 感染症の疫学、平成 24 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2013 年 1 月

西田恭治：血友病診療、平成 24 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2013 年 1 月

矢嶋敬史郎：カポジ肉腫、平成 24 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2013 年 1 月

小川吉彦：悪性リンパ腫、平成 24 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2013 年 1 月

米本仁史：CMV 感染症、平成 24 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2013 年 1 月

白阪琢磨：大阪府医師会感染症対策に関する研修会、大阪、2013 年 2 月

白阪琢磨：HIV/AIDS の現状。国立病院機構兵庫中央病院院内教育・研修会、三田、2013 年 2 月

白阪琢磨：Aging/HAND/New Drug 等を含めた長期治療マネジメント（仮）。東北エイズ/HIV 臨床カンファレンス、仙台、2013 年 2 月

白阪琢磨：HIV 診療について。平成 24 年度宮崎県エイズ拠点病院・関連病院実務者研修会、宮崎、2013 年 2 月

伊熊素子：子供の HIV 感染、平成 24 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2013 年 2 月

廣田和之：HIV の眼疾患、平成 24 年度奈良県立医科大学健康政策医学実習、大阪、2013 年 2 月

上平朝子：HIV/AIDS の基礎知識と療養支援、株式会社メッセージ主催講演会、大阪、2013 年 2 月

西田恭治：HIV/AIDS 診療に際してチョットお得な話～困っているトピックの一部をめぐって～、静岡県医療講演会、静岡、2013 年 2 月

大寺博：HIV/AIDS の基礎知識、HIV 陽性者の施設受け入れに関する研修会、大阪、2013 年 2 月

渡邊 大：大阪医療センターにおける HIV 診療の現状と抗 HIV 療法の今後の課題。岡山 HIV 診療ネットワーク第 114 回定例会、岡山、2013 年 3 月

矢嶋敬史郎：我が国における HIV 感染症の現状と課題、第 13 回近畿臨床産業医学フォーラム、大阪、2013 年 3 月

B-9

白阪琢磨：HIV 感染症。朝日放送ラジオ「健やかライフ」、大阪、2013 年 2 月 4 日-8 日

白阪琢磨：米ジョンズ・ホプキンス大学が公表した「HIV に感染した新生児に対する投薬で HIV ウイルスが消滅した」とする報告についての談話。共同通信社、2013 年 3 月 5 日